一般社団法人日本内科学会 令和 8 年度 第 2 回 理事会議事録

1．日　時　令和 8 年 9 月 24 日（木）16 時 00 分～17 時 45 分
2．場　所　東京都文京区本郷 3 丁目 28 番 8 号
一般社団法人日本内科学会事務所会議室を開催場所とするハイブリッド会議
3．理事総数　19 名　　出席した理事の数　19 名
現地出席者［理事］
山内敏正（理事長）の 1 名
Web 出席者［理事］
豊嶋崇徳、安田　聡、冲永寛子、黒川峰夫、西山和利、綿田裕孝、曽根博仁、石井　誠、土肥　薫、
絹川弘一郎、今川彰久、坂田泰史、山本信之、塩谷昭子、小島研介、吾郷哲朗、石塚賢治、柳田素子の 18 名
［監事］
花岡正幸、藤原靖弘の 2 名
［その他出席者］
熊ノ郷淳（第 124 回講演会会長）、西出真之（第 124 回講演会準備委員長）、
西　裕志（第 125 回講演会準備委員長）、須永眞司（専門医制度審議会会長）、坂本直哉（和文誌編集主任）、
清水　渉（英文誌編集主任）、松村正巳（専門医部会会長）の 7 名
欠席者［監事］
片桐秀樹の 1 名
［その他欠席者］
南学正臣（第 125 回講演会会長）の 1 名
4．議事の経過及び結果
山内敏正理事長が議長となり、定款に基づき理事の過半数が出席し、会議が成立している旨の報告があった。また、定款第 36 条に基づき議事録署名人に山内理事長ならびに Web 出席の監事である花岡正幸、藤原靖弘の両氏が指名された。本会議は Web 会議ソフト（Zoom）を利用して開催し、情報伝達の即時性と双方向性を確認した後、次の 18 議案について逐次審議することとなった。

第 1 議案　令和 9 年度支部助成金について
事務局より、令和 9 年度の各支部助成金配分案について説明がなされた。総ファンド額を約 1 億 3,197 万円（前期比約 208 万円減額）とし、算定基準（会員数 250 円/名、過去 5 年間平均演題数 15,000 円/題）は、令和 8 年度の基準を踏襲しつつ、直近（令和 8 年度実績等）まで登録演題数の対象実績を反映（実質 2 期分更新）した結果、10 支部中 7 支部で減額となる旨が報告された。審議の結果、原案通り承認された。
第 2 議案　会員の入退会について
（1）新入会者について
議長より、令和 8 年 4 月 1 日から同年 8 月 31 日までの期間において、1,185 名の新入会があった旨が報告された。
（2）会員資格喪失者に対する特例措置の可否について
事務局より、会費未納（2023 年度以降）により資格喪失（除名）となった会員のうち、復帰願が提出された 5 名について説明がなされた。住所変更手続きの不備や海外留学、勤務先変更等による連絡不達等、やむを得ない事情が認められることから、①指定期日までの未納会費全額一括納付、②今後同様の事態が発生した場合は理由を問わず即時資格喪失となる旨の同意を条件として、特例的な復会（資格の遡及的継続）を認めることにつき審議し、承認された。
第 3 議案　学術集会運営委員会関係事項
（1）第 123 回講演会収支報告
事務局より、令和 8 年 4 月に開催された第 123 回講演会（張替会長）の収支報告がなされた。事業活動収入は 4 億 7,889 万 9,000 円（予算比 2,889 万 9,000 円増）、支出は 3 億 142 万 1,000 円（予算比 724 万 1,000 円減）となり、当期収支差額は 1 億 7,747 万 8,063 円の黒字（予算比 3,569 万 63 円増）となった旨が報告された。併せて、生涯教育講演会や支部講演会等 14 企画の赤字を年次講演会の黒字で補填している構造と今後の課題について説明があった。
（2）第 124 回講演会関係報告
熊ノ郷第 124 回講演会会長より、会期（2027 年 4 月 9 日～11 日、大阪国際会議場）、テーマ（「縦糸と横糸が織りなす内科学」）、プログラム構成について報告がなされた。なお、定時総会については初日（4 月 9 日）の講演会開始前に開催する予定である旨説明があった。
（3）本年度委員会報告（第 125 回講演会関係報告含む）
安田委員長より、7 月 10 日開催の第 1 回委員会記録、第 125 回講演会（2028 年 4 月 14 日～16 日、東京国際フォーラム）、第 54 回内科学の展望および第 55 回内科学の展望の準備状況について報告がなされた。
（4）第 126 回講演会の開催地・会場について
安田委員長より、2029 年 4 月 13 日～15 日開催予定の第 126 回講演会について、主要会場（東京・横浜・大阪）の確保が困難であること、ならびに現地参加者数（約 5,000～7,000 名想定）やアクセス環境等を総合的に考慮し、特例的措置として「名古屋国際会議場」（丸山彰一主宰会長）にて開催することにつき審議がなされ、承認された。

第 4 議案　学術誌編集委員会関係報告

（1）日本内科学会雑誌編集委員会報告

坂本編集主任より、本年度編集委員会、日本内科学会雑誌の本年度の発行状況と既に決まった特集号の内容や特別掲載の内容等について報告があり、了承を得た。

（2）Internal Medicine 編集委員会報告

清水編集主任より、Internal Medicine の本年度の Online Journal の発行状況と投稿数、採択率ならびに採択数、Impact Factor について報告があり、了承を得た。

第 5 議案　専門医制度審議会関係事項

（1）本年度審議会報告

須永審議会会長より、専門医制度審議会人事、認定内科医から機構認定内科専門医更新基準への移行検討（順調に進めば 2028 年 4 月更新者より順次移行）、令和 9 年度専攻医募集におけるシーリング設定（鳥取県・鹿児島県を追加、大阪府を解除）、病理解剖必修要件の緩和・あり方の見直し議論、ならびに専門研修修了要件における学会発表 2 編の見直し（1 編を内科学会発表とすること等の検討）等について報告がなされた。

（2）第 6 回内科専門医資格認定試験合格者の認定

第 6 回内科専門医資格認定試験合格者 2,786 名の内科専門医資格の申請があり、承認を得た。

第 6 議案　専門医部会関係報告

松村専門医部会会長より、令和 9 年度予算、事業中間報告（学会誌「一目瞭然！目で見る症例」掲載、CPC 実施状況等）、各支部部会活動状況、役員任期満了に伴う後任検討、および総合内科専門医の機構認定に伴う制度移行や第 124 回講演会における専門医部会企画の検討状況について報告がなされた。

第 7 議案　生涯教育委員会関係報告

石塚委員長より、2026 年度生涯教育講演会（A・B・C セッション）の開催状況、2027 年度開催計画（A：松本市、B：東京、C：山口市）、2028 年度担当支部（A：四国支部、B：東海支部、C：生涯教育委員会）、および生涯教育オンデマンドサイト（CME）のコンテンツ拡充に向けたワーキンググループの設置・進め方について報告がなされた。

第 8 議案　支部関係報告

豊嶋担当理事より、令和 8 年度第 1 回支部代表者会議（6 月 17 日開催）の報告がなされた。労基署の立ち入り検査を踏まえた本部・支部事務局の長時間労働見直しと業務役割分担の明確化、ならびに四国支部における口座切り替えに伴う監査課題を受けた全支部の会計ルール・ガバナンス強化策について説明がなされた。

第 9 議案　学会在り方検討委員会関係報告

坂田委員長より、各ワーキンググループの活動報告、および「内科の日」市民公開講座 2026（7 月 5 日大阪開催、来場者 130 名、支出実績 1,094 万円）の実施結果とロゴマーク公募、2027 年開催計画（7 月 4 日東京開催予定）について報告がなされた。

第 10 議案　総務委員会関係事項

（1）本年度委員会報告

議長より、令和 8 年度第 1 回（5 月 29 日）および第 2 回（9 月 11 日）総務委員会の開催報告、名誉会員（19 名）・功労会員（125 名）推薦候補者について（12 月に正式審議）、令和 9 年度評議員・理事・委員会委員推薦依頼の発出了解について報告がなされた。

（2）ハラスメントの防止に関する基本方針について

事務局より、学会役員・会員・事務局職員・大会スタッフ等を対象とした「ハラスメント防止基本方針」の策定および相談窓口設置について報告がなされた。

（3）カスタマーハラスメントの基本方針およびポスターについて

事務局より、10 月施行の関連法改正に対応した「カスタマーハラスメントに対する基本方針」および講演会会場・学会誌等で掲示する啓発ポスター策定について報告がなされた。

（4）評議員会および定時総会の開催方法について

事務局より、評議員アンケート（95.4%が賛成）を踏まえて 2027 年 4 月からの評議員会を「完全 Web 化」へ移行すること、ならびに定時総会は非会員混在等の法的リスク回避の観点から、第 124 回講演会（来年度）においては、初日（4 月 9 日）の講演会開始前（8 時 20 分開始想定）に移動して開催する方針の報告がなされた。

第 11 議案　財務・組織管理委員会関係報告

議長より、人事院勧告に沿った給与改定、正職員 2 名の中途採用、労基署是正勧告への改善報告書提出等についての報告がなされた。また、事務局より、システム関連として、試験関係システムの外部ベンダー移管の進捗、および会員管理システム（NAISⅡ）の令和 8 年度追加改修について報告がなされた。

第 12 議案　ダイバーシティ推進委員会関係報告

柳田委員長より、女性役員・代議員比率向上に向けた要望書提出と改善状況、サブスペリスト活用による講演会座長の若返りおよび女性座長比率の大幅向上（9%→48%）、ダイバーシティ書籍の出版企画、ならびに若手委員会活動（医学生・専攻医アンケートの論文化、Personal Web を活用した全会員アンケート企画等）について報告がなされた。

第 13 議案　AI プロジェクト委員会関係報告

坂田委員長より、第 1 回 AI プロジェクト委員会（9 月 2 日開催）について報告がなされた。重点 4 領域（診療・教育・研究・運営）の検討、関連学会アンケート結果、倫理・法的課題やハルシネーション対策の重要性、ならびに J-OSLER へ

の生成 AI（Google Gemini）実装計画について報告がなされた。

第 14 議案　医療安全委員会関係報告

小島担当理事より、日本医療安全調査機構への協力状況（役員・委員派遣、調査部会委員 11 名推薦）および「入院早期に発生した食物による窒息事例の分析」等の医療安全情報の学会誌掲載について報告がなされた。

第 15 議案　倫理委員会関係報告

石井担当理事より、日本産科婦人科学会からの着床前遺伝学的検査（PGT-M）審査協力依頼（Loeys-Dietz 症候群事例）に対し、担当する専門家を推薦し、作成された意見書を確認のうえ提出した旨が報告された。

第 16 議案　学術委員会関係報告

綿田担当理事より、現在まで本委員会にて審議すべき事案の発生はなく開催実績はないが、事案が発生次第適宜対応する旨が報告された。

第 17 議案　日本専門医機構関係報告

事務局より、日本専門医機構の第 7 期執行部体制、令和 7 年度事業収支、および長年継続審議されていた「総合内科専門医」が日本専門医機構のサブスペシャルティ領域として正式承認された旨が報告された。

第 18 議案　その他

議長より、今後の理事会等開催日程について説明・報告があり、了承を得た。

以上により本日の議事を終了し、議長の閉会の挨拶のあと散会した。

令和 8 年 9 月 24 日

一般社団法人日本内科学会理事会　　議　　長（理事長）　山内　敏正

議事録署名人（監　事）　花岡　正幸

議事録署名人（監　事）　藤原　靖弘